

是政八幡神社 狛犬について

作者は御碑銘彫刻師 せいきせん 井亀泉

酒井八右衛門

江戸時代から昭和の初期にかけては、多くの石工が活躍していました。廣郡鶴（ぐんとうかく）・窪世祥（くぼせしやう）・井亀泉（せいきせん）は江戸三大石匠と呼ばれ名工として現在でも多くの神社仏閣に作品を残しております。

是政八幡神社の狛犬の作者名が今回の台座改修工事において見つけることができました。酒井八右衛門は、江戸三大石匠と呼ばれた『井亀泉』である事が判明しました。

文京区にゆかりの深い酒井八右衛門の系譜等については、浅草 浅草寺に寄進された燈籠の竿部分に詳細な碑文が遺されており、来歴を窺うことができます。

酒井八右衛門の祖は、越前福井藩・松平家の元家老職を出自とし、寛政年間（1789～1801）に江戸に出てきたされます。駒込肴町（現在の文京区向丘1丁目）に暮らし、石工を始めたのは酒井八五郎、その子が初代八右衛門となっています。

二代に養子を迎えて以降、八右衛門の名は四代まで続き、現在では石工を廃業しています。酒井八右衛門『井亀泉』から独立した弟子達の多くは「泉」の字を屋号とし『保泉』・『喜泉』・『玉泉』・『和泉』・『龍泉』名義の石碑等が確認されています。

顕彰碑や墓碑を制作した際には『井亀泉』名義とし、鳥居や石彫などの石造物は制作した場合には『酒井八右衛門』の名を彫り付けるなど、制作する対象によって名義を使い分けていたことが窺えます。



石工 酒井八右衛門『井亀泉』というブランド

新潟県 弥彦神社狛犬

福島県 松平定信公の歌碑

新宿区 稲荷鬼王神社狛犬

台東区 上野東照宮

新宿区 靖国神社狛犬

文京区 八百屋お七墓所

文京区 根津神社狛犬

世田谷区 井伊忠正公神道碑

板橋区 氷川神社狛犬

新宿区 稲荷鬼王神社狛犬



明治35年2月建之の狛犬。立派さもさることながら、親子の仲の良さは郡を抜きます。

台東区 上野東照宮



上野東照宮(台東区上野公園)大正3年(1914)作者:「石工 酒井八右衛門/彫刻 大竹豊吉」
東京都特別区の狛犬 上野東照宮の狛犬は張り出した大きな胸の迫力がすごい。

文京区 根津神社狛犬



重要文化財の社殿前にいる見た目にもいかめしい狛犬は、大正元年9月の建立で、台座には「石工 井亀泉 大竹豊吉彫」と彫ってあります。井亀泉(せいきせん)とは石匠 酒井八右衛門のことですが、この根津神社の氏子総代も努めていたようです。地元では石屋の大旦那と呼ばれ、駒込着町、現在の向が丘1丁目辺りに店と石置き場がありました。その酒井石材店には、単に石を運ぶ馬方から彫刻の出来る者まで含めて千人もの人たちが関わっていたそうです。狛犬に関して明治期は二代目八右衛門、三代目になって大正期は大竹豊吉、昭和に入っては野村保泉が刻んでいました。



板橋区 氷川神社狛犬

社殿前の狛犬は玉取・子取の江戸型。
奉献年、石工名は未確認。
境内社前の狛犬は蹲踞の姿勢の江戸型。
台座裏に「明治三十五年六月建之
東京石工 酒井八右衛門」の銘あり。



新潟県 弥彦神社狛犬

図案 伊東忠太。原盤 新海竹太郎。
石工 酒井八右衛門。
随神門前に阿吽が向かい合って鎮座
している。
明治45年の焼失に伴い、現社殿が再
建された大正5年10月に狛犬も建立さ
れた。



是政八幡神社 鳥居の作者

石工 野村保泉

日本橋 日枝神社狛犬

昭和9年6月
石匠 水道橋 野村保太郎。
是政八幡神社の鳥居を作られた
石工で屋号を保泉とも言います。
神田神社の狛犬の制作もしてい
る。